

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	18	昨年は外出回数が少なく、季節を感じたり、社会的交流が少なかった。地域との関わりも極端に少ないのが問題点だと考えられる。	外出を通し季節を感じて頂いたり、近所の喫茶店へ行き、地域との関わりを持ち、社会的交流のある生活を送って頂く。	最低月1回は喫茶店へ行く機会を設ける。1度に1.2人の少人数の利用者様を同行支援する。外出し易い環境を作る。毎月の外出予定を立てる。事前に行く場所の確認を行い、計画を立て実施する。	12ヶ月
2	9	活気がなく目を閉じ、テーブルに伏せて過ごす時間の長い方がある。散歩の声掛けにも「いやや」と拒否されたり「何もやりたくない」という返事が多かったりする。食後直ぐに布団で横になりたがる方があるなど利用者様自身も何を希望しているのか分からず、ホーム職員も受け取ることが出来ていない方がある。	利用者様自身が「やりたいこと」を見つけることが出来る。受け身ばかりの支援ではなく、利用者様自身が希望した事の達成の為に支援を受ける場面が多くある生活を家族や職員の協力を得て作ることが出来る。	利用者様自身やご家族がどのような人生を望んでいるかを考えて頂く機会を提供する。その為、サービス計画作成の為に担当者会議にご家族に積極的な参加の案内を行う。その他、普段の生活の中で出る利用者様の言葉を見逃さない取組を行う。担当者中心に行う。些細な事でも利用者様にとっては重要なことである場合もあり、遠慮があり発言を控えることがあることを再度認識する。ご本人の本当の思いをサービス計画に反映する。利用者様にサービスの満足度についてのアンケートを実施する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。